



1

- 問1. 1…⑤
問2. 2…①
問3. 3…④ 4…⑨ 5…⑥ 6…② 7…⑤
問4. 8…②
問5. 9・10…③・④
問6. 11…①

2

- 問1. 12…①
問2. 13…⑤
問3. 14…①
問4. 15・16…④・⑥
問5. 17・18…①・④ 19・20…②・⑤ 21・22…③・⑥

3

- 問1. 23…④
問2. 24…③ 25…⑨
問3. 26…④ 27…②
問4. 28…② 29・30…①・⑤ 31…② 32…③ 33・34…④・⑤

4

- 問1. 35・36…②・④
問2. 37…①
問3. 38…④

5

- 問1. 39…①
問2. 40…①
問3. 41…⑧
問4. 42・43…①・③
問5. 44・45…②・④

【講評】

- 1 核酸 問1～問2と問4～問6は標準的な知識問題。やや細かい知識もあるが、1問間違えぐらいで乗り越えたい。問3は出題頻度の高いコドンが指定するアミノ酸を決定する問題で、ここでのミスはもったいない。
- 2 細胞骨格とモータータンパク質 問1～問5まで、全問が標準～発展の知識問題である。問4は医学的な問題で難しい。問5は実験的な問題になっていて、「定常状態の細胞骨格には影響しない」をきちんと考えられたかがポイントであろう。得点差が大きくなりそうなので今年の勝負問題といえる。このテーマについてウインダムでは重点的に取り扱ってきたので、ウインダム生は健闘できたであろう。
- 3 移植とクローン 問1と問3は標準～発展の知識問題で、問2は計算問題である。問2の2つ目の計算や問4の(2)と(5)で解答を迷いやすい。この問題も得点差が付きそう。
- 4 オーキシン 問1と問3は発展の知識問題であるが、問1はウインダムで使用している図説集に、問3は教科書にそれぞれ記載がある。問2は出題頻度の高い考察問題である。

5 生物の進化 問1～問5まで、全問が標準～発展の知識問題である。問3～問5で得点差がつきそうである。問4はなじみの薄い②④⑤を選んでしまいそう。問5は「核酸の解析に基づく」動物の系統樹の問題である。

大問数は昨年と同じであるが、マーク数が昨年の36から45へと増加した。問題レベルは昨年よりはやや難しくなったが標準的な問題である。考察問題が少なく、時間的にはちょうどいい。

これが合格へのシナリオ!



藤田後期

藤田保健衛生大学
医学部後期対応
チャレンジシナリオ

2月22日(月) ~ 3月2日(水)

講座概要

藤田英語 12時間

総合的な英語力を効率よく養成します!

2015年度の後期の第1問は「欧米人とアジア人の思考法に対する伝統的農業の影響」についての話で、設問は空所補充が3題、下線部の説明(選択)が1題、語句整序(選択)が1題、内容説明(記述)が1題、内容一致(選択)が1題。空所補充の設問は、日本人に対しては、the nail that stands up gets hammered down「出る杭は打たれる」、アメリカ人に対しては、every failure is a stepping stone to success「すべての失敗は成功への踏み石」がそれぞれの国民性を表している。語句整序は前期と形式は一緒だが並び替えるのがより厄介で、the way に that S + V が続くことを見抜いて、not a fundamental truth about the way that all humans flourish を作ります。

第2問は、「三人集まれば文殊の知恵」という諺が示すように、一人よりも複数の人がいた方が問題解決の役に立つということを一旦は認めた上で、一人でも方法次第では複数人いる時ほどではないにしても問題の正解に近づくことができるという実験結果の話です。設問は空所補充(選択)が3題、内容把握(選択)が1題、内容説明(選択)が1題、内容説明(記述)が1題、内容一致(選択)が1題です。

第3問は、「産業革命以前と以後の生活様式の違い」についての文章に前期同様12ある空所に単語を記述で埋めていく問題です。埋めるべき語は、名詞が8語、動詞が1語、動名詞が1語、関係代名詞が1語、関係副詞が1語です。後期も名詞の比率が高いでしょう。

2008年以降、文章題3題という傾向が続いている。設問内容も、語句や文の空所補充、内容判断(一部は記述)、内容一致、今年は出なかったが単語の語形変化など、大体同じような傾向が続いているが、文章中での日本文なしの語句整序は定着した感がありま

す。難易度はほぼ標準で変化はありませんが、英文は決して読みやすいわけではありません。英文をきちんと理解できる力を養成して十分に解答できるように仕上げていきましょう。

藤田数学 12時間

問題の攻略の鍵は「読解力&思考力&計算力」

問題文の中にいくつかの設問が設定されているという藤田のスタイルに対処するには、「問題の流れに乗る」ということが大切です。出題者の意図を素早く読み取るには、読解力が必要であり、それを踏まえて問題を攻略する際は、今までに培ってきた知識から問題解法に必要なものを選び、組み立てる作業が必要です。微分・積分法や指数対数の計算においては、手間暇のかかる計算も多いので、たかが計算と思わずしっかり精進することが大切です。

また、講習会では、藤田特有の「物理的背景のある問題」についての攻略方法も伝授し、短期間で効率よく「読解力&思考力&計算力」を身につけ、藤田後期の合格力とします。

藤田化学 9時間

化学は、ズバリ当てに行きます!

2011年までの化学は、大問4~8題からなる記述式(一部選択も)でした。そのうち①が小問集合(5~8題)になったのが08年からです。

②以降の大問は、小問4~6題からなるものが多く、典型的なものばかりです。内容の特徴は、大問ごとのテーマが非常に明確であること、つまり、きちんと学習してきた者にとっては、対処しやすく高得点が期待できる問題ばかりだということ、逆にいえば、断片的な知識では、合格が難しいことを物語っています。対策としては、今まで培ってきた知識などをテーマごとに組み直し、きちんと演習することです。これだけで、これから新しいことを覚えることなく、一気に合格の可能性を増すことができます。

計算問題ももちろんありますが、量が多いということもなく、大問①は、選択式であるので、時間に追われることもありません。

30字前後の論述も、設問が見慣れたもの、典型的なものばかりで、とくに論述対策を必要とするものではありません。持っている知識をアレンジし、演習すれば、驚くほど合格の可能性が上がる、それが藤田の化学なのです。

藤田生物 9時間

実戦問題による、高密度の生物を教えます!

藤田の生物の入試問題にはいくつかの特徴があります。第1に出題分野の偏りが強い点です。細胞生物学(細胞分裂を含む)、動物生理学(特に神経系と内分泌)、生化学(代謝、特に呼吸)、分子生物学が非常に高頻度に出題されています。この分野は私大医学部ではどこでも頻出分野なのですが、藤田はこの傾向が特に顕著です。

第2に過去の問題と同じ問題が再出題される点です。2009年の変異原を聞く問題は1997年の問題と一言半句違わず、問題文も選択肢も選択肢の並び順も、全く同一です。2012年の翻訳されない遺伝子の問題は、2006年と同問ですし、2010年の還元型補酵素から酸化型補酵素への変換の生物学的意義については、2005年に出題されています。この特徴は埼玉医大や川崎医大などにも見られますが、藤田もまた再出題の最も多い大学のひとつと言えます。

第3に全体的難易度は標準ですが、一部に細かい知識を問う設問がある点です。これは頻出分野について、一歩踏み込んだ知識を身につけることで対応可能です。

本講座では以上の特徴を踏まえ、頻出分野の徹底攻略を行います。直前期は学習効率が大切です。ウインダム生物科は、総力をあげて皆さんをサポートします。

藤田物理 9時間

どんな問題でも対応できる物理力を身につける!

出題範囲に偏りは見られず、標準問題がほとんどです。ですが、結果のみの記述式で、問題数が少ないため、計算ミスなどのケアレスミスは致命傷となります。授業では、物理の原理・法則・公式を根源的に理解し、思考力と応用力を高め、公式の丸暗記では対応できない問題にも、果敢に立ち向かえるような実力を短期間で育成します。単なる解法の丸暗記ではなく、「考える」ことを大事にして問題を解いていきます。

これが合格へのシナリオ!

藤田保健衛生大学医学部進学
水野 泰昭君

藤田保健衛生大学へは誰でも行ける?

藤田保健衛生大学は、名古屋駅から電車で30分のところに位置する医療系総合大学で、併設されている病院は地域医療の拠点です。

教育環境は、大変充実しており、面倒見のよい教職員の指導のもと、上下の垣根を取り払ったフラットな雰囲気、チーム医療を学ぶことができます。つまり、藤田に入学した生徒は、医師として必要な知識や経験を積むことができるだけでなく、人間としても成長することが可能なのです。

開講日時: 2月22日(月)~3月2日(水)のべ42指導時間
英語12時間 + 数学12時間 + 理科(理科×2)18時間

対象: 藤田保健衛生大学医学部後期受験者
特典: 一次合格者には二次対策を実施します。
講習期間中、自習室をご利用いただけます。

スケジュール

日	曜	9:30~12:40(90分×2)	13:30~16:40(90分×2)	17:10~20:20(90分×2)
2月22日	月		藤田後期数学チャレンジⅠ	藤田後期英語チャレンジⅠ
2月23日	火	藤田後期物理チャレンジⅠ	藤田後期生物チャレンジⅠ	
2月24日	水			藤田後期英語チャレンジⅡ
2月25日	木		藤田後期数学チャレンジⅡ	
2月26日	金	藤田後期物理チャレンジⅡ	藤田後期数学チャレンジⅢ	藤田後期生物チャレンジⅡ
2月27日	土		藤田後期化学チャレンジⅠ	
2月28日	日	藤田後期化学チャレンジⅡ	藤田後期英語チャレンジⅢ	
2月29日	月			
3月1日	火	藤田後期物理チャレンジⅢ	藤田後期生物チャレンジⅢ	藤田後期英語チャレンジⅣ
3月2日	水	藤田後期化学チャレンジⅢ	藤田後期数学チャレンジⅣ	
3月6日	日	2016年度 藤田保健衛生大学医学部後期試験		

申込要項

1. 下記申込書に必要事項を記入して、郵送、FAXしてください。
2. 受講費用 128,000円(税込)
3. 下記の口座に受講費用を振り込んでいただき、申込は完了となります。なお、講座を欠席されたことによる受講料の返金はできませんので、ご了承下さい。

三井住友銀行 渋谷駅前支店
(普通預金)口座番号:2740761 口座名:カ)ウインダム

4. 即戦対応授業となりますので、講義の当日はそのまま来校してください。予習の必要はありません。

入学に際しては、いわゆる多浪や女子、さらに大卒の受け入れにも柔軟で、一次試験でしっかり高得点を取り、二次試験を無難にこなせば、だれでも医学部進学の夢を実現できます。

直前だからこそ、入試傾向に沿った対策を!

私大医学部には独特の癖があります。天才的な受験生は別として、一般の人が医学部入試を目指す場合、過去問をしっかりと研究しないと、複雑な計算に傾斜した大学、知識偏重の大学、問題量が多いが難易度はさほどでもない大学、出題の連続性がある大学などの基本情報が身につけられないのが実情です。過去問ひとつ眺めないで試験会場に行くことは、敵を知らないで戦いに挑むようなものです。

藤田保健衛生大学医学部 後期対応チャレンジシップ申込書

フリガナ	
氏名	
男・女	
住所	
〒	
在籍・出身高校	卒業年度 (卒業生のみ)
連絡先 Tel	
選択科目に○	
化学 ・ 生物 ・ 物理	